

取扱説明書

改訂版⑤

乗用芝刈機・草刈機

HG-SK9950 HG-SK9950K

燃料 無鉛レギュラーガソリン

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを
読み取ることで、
本製品の組立てなどを
動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3	点検・整備の仕方	26
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために		運転前の点検	26
安全にお使いいただくために	4	エンジンオイルの交換	26
乗用芝刈機・草刈機の安全に係る事項	4	バーナイフの交換	27
乗用芝刈機・草刈機の作業に係る事項	6	ベルトの点検	28
主要諸元	7	グリスの塗布	29
各部の名称	8	エアクリーナーの清掃	29
梱包部品一覧	9	点火プラグの点検・清掃	30
組立て	10	長期間使用しない時	31
ハンドルの取付け	10	運搬について	31
シートの取付け	10	故障かな?と思ったら	32
横排出口の取付け	11	消耗品一覧	34
集草袋の組立て	12	FAX 見積り・注文用紙	35
集草袋カバーの取付け	14	保証内容について	38
排出口の取付け	15	お客様ご相談窓口	39
集草袋の取付け	16		
バッテリーの配線	16		
取扱い	17		
エンジンロットルレバー	17		
走行変速レバー	17		
ブレーキ・クラッチペダル	17		
刈刃クラッチレバー	17		
パーキングブレーキ	18		
刈高調整レバー	18		
運転前の点検	19		
燃料の点検・補充	19		
エンジンオイルの点検	19		
集草袋の点検	20		
エアクリーナーの点検	20		
バーナイフの点検	20		
運転操作の仕方	21		
エンジンのかけ方	21		
エンジンの止め方	22		
芝刈り・草刈り操作	23		
傾斜面での芝刈り・草刈り	24		
刈取りパターン	24		
芝・草の処理について	24		
作業の終了	25		
走行に関する注意	25		
車両の移動に関する注意	25		

はじめに

このたびは乗用芝刈機・草刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

乗用芝刈機・草刈機の安全に係る事項



警告



禁止

- ・燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部(出力軸・フライホイール・ファンベルト・プーリー等)に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・運転中は絶対投入口、排出口をのぞき込んだり、排出口の下に入らないでください。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。





指示

- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・運転中に点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- ・停止中でも、直接刃物に触れないでください。怪我をすることがあります。
- ・エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- ・点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。

安全にお使いいただくために

乗用芝刈機・草刈機の安全に係る事項



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。



安全にお使いいただくために

乗用芝刈機・草刈機の作業に係る事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。• 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。• ご使用時は、使用者から12m内は危険です、人や動物がはいるないようにしてください。• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。• 転倒しやすい場所では使用しないでください。• 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。• 土や砂利道の上でバーナイフを回転させないでください。• 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 水平で安定した場所に設置してください。• 適切な時期に休憩をとってください。• 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。• 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。• 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜きとってください。• 運搬時、格納時は刃物カバーを必ず取付けてください。• 本機を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。• 移動する時は、バーナイフの回転を止めてください。• 事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取除いてください。• 作業前に集草袋に穴や擦り切れがないか点検してください。• 作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、バーナイフに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。• 急傾斜地では使用しないでください。• 雨天時は使用しないでください。• 舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。• 車両に堆積した草等はきれいに取除いてください。火災の恐れがあります。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。• エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• エンジンの空気吸入口に草などが堆積するとオーバーヒートや熱による車体の異常が発生する可能性があります。作業前に必ずエンジンの空気吸入口を点検し、草などが堆積している場合は清掃してください。• 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。• 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。• シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。• 定期点検整備を行っていただく時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

主要諸元

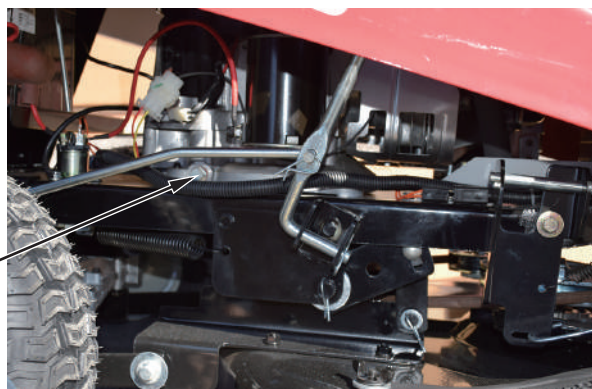
モデル名	HG-SK9950	HG-SK9950K
エンジン形式	アメリカ製Briggs & Strattonエンジン	
エンジン馬力/排気量	12.5HP/344cm ³	
始動方式	セルスターター	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
ガソリンタンク容量	4.2L	
燃費	1L当たり約50分 ※使用状況により異なります。	
エンジンオイル量	1L	
刈り取り幅	760mm	
刈り取り高さ	20-90mm、6段調整可能 ※水平にしたボディの一番低い位置です。	
車輪	前車輪 10"、後車輪 15" チューブレスタイヤ	
走行調整	5段前進、1段バック、1段停止	
走行スピード	1.3~8km/h	
バックスピード	3km/h	
草収集	背面から集草袋に収集&横排出	片側から吹き出し式
互換点火プラグ	BKR5ES(NGK)	
サイズ (L×W×H)	1960×850×1150mm (集草袋含む)	1550×850×1150mm
本体重量	160kg	160kg

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

※写真は HG-SK9950



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体 	B. ハンドル 	C. 横排出用パーツ 	D. シート 
	E. ハンドルチューブ 	F. バッテリー配線部品 	G. シート固定部品 
			H. エンジンキー 

★以下の部品は、乗用草刈機 HG-SK9950K には付属しません。

I. 集草袋 	J. 集草袋取付プレート 	K. 集草袋カバー 	L. 集草袋用骨組み① 
M. 排出用チューブ① 	N. 集草袋パーツ① 	O. 集草袋パーツ② 	P. 集草袋用骨組み② 
Q. 排出用チューブ② 	R. 排出用チューブ取付部品 	S. 集草袋レバー 	T. 集草袋レバー取付部品 
U. 集草袋取付部品① 	V. 集草袋取付部品② 	W. 集草袋取付部品③ 	X. 割りピン 

※製造時期により部品の形状が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

組立て

⚠ 注意

- ・取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- ・平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。



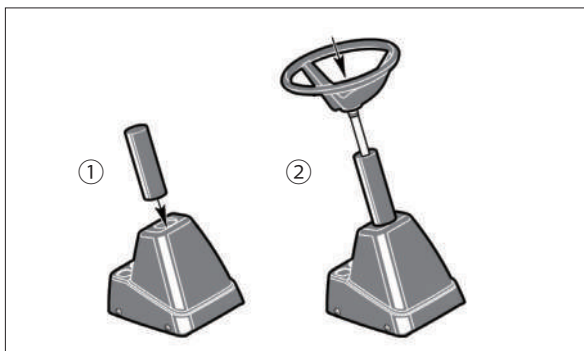
このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

ハンドルの取付け

- 1 タイヤを真っ直ぐにします。



- 2 ハンドルチューブをコンソールに挿入します。ハンドル軸をチューブに通して、コンソールに挿入します。その際、ハンドルを向きに注意し真っ直ぐにカチッと音がするまで挿入します。
※一度挿込むと抜きづらい仕様になっているのでハンドルの向きに注意してください。



シートの取付け

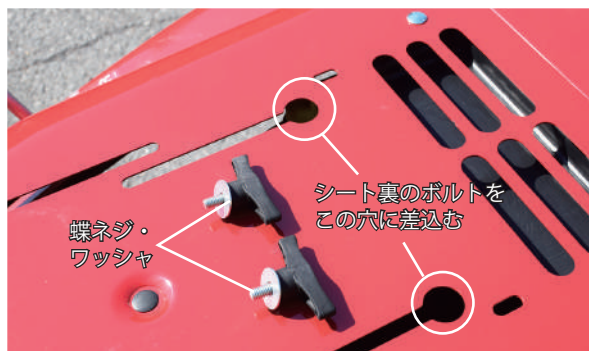
- 1 シートサポートを開け、ロッドで固定します。



ロッド

組立て

- 2** シートの取付けボルトと、シートサポート穴の位置を合わせます。



- 3** 蝶ネジにワッシャを通し、軽く止めます。



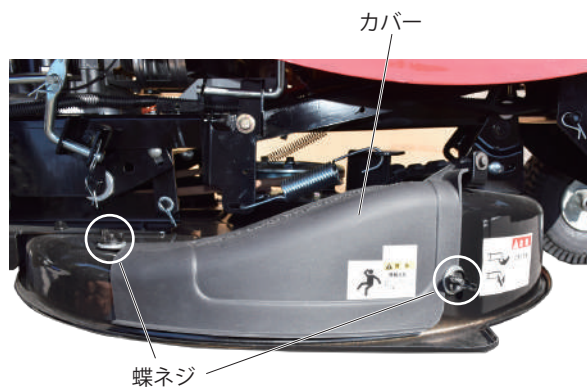
- 4** 運転操作がしやすい位置にシートを合わせ、蝶ネジでしっかり固定します。



横排出口の取付け

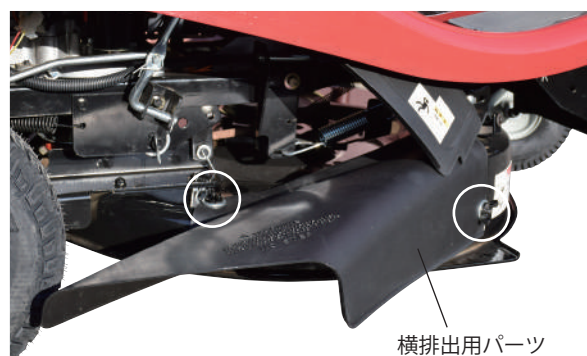
背面の集草袋を取付けない場合は、横排出口を取付けます。

- 1** 2カ所の蝶ネジを一旦外し、カバーを開けます。



- 2** 横排出用パーツをセットし、蝶ネジを締めます。

※使用中振動で緩みやすくなりますので、適宜増し締めしてください。

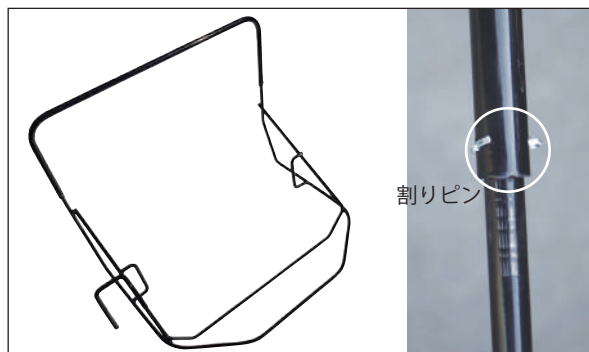
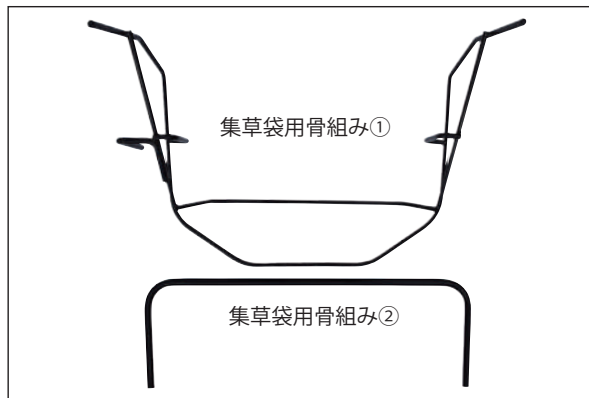


組立て

★乗用草刈機 HG-SK9950K は P.16 「集草袋の取付け」まで飛ばしてください。

集草袋の組立て

- 1 集草袋用骨組み①に集草袋用骨組み②を挿込み、割リピンで固定します。



- 2 集草袋のハトメに骨組みのL字型の部分を通します。



- 3 集草袋を骨組みに取付けて行きます。



- 4 集草袋のL字部分にレバーを挿込み、付属のボルト、ナットで固定します。



組立て

5 本体後方の下側のボルトを外します。



このボルトを外します。

6 付属の集草袋取付部品のノブ、ナット、ワッシャを一旦外します。

集草袋取付部品①

ノブナットを外す

ナット、ワッシャを外す
※ナットとワッシャ1枚は
使用しません。



7 手順5で外した穴にボルトをねじ込み、ワッシャを通します。



8 本体後方の上側の穴に付属のボルト、ワッシャ、ナットを取付けます。(仮留め)



ナットを一旦外す



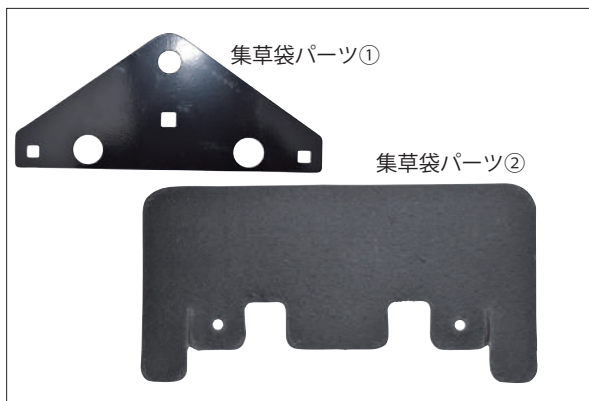
9 上記で取付けたボルトに集草袋取付プレートを引っ掛け、ノブナットを取付け締め付けます。(締めすぎに注意) 上側のボルトも締め付けます。



締めすぎ注意

組立て

10 集草袋取付プレートに集草袋パーツをボルト、ワッシャ、ナットで取付けます。



集草袋カバーの取付け

1 集草袋取付プレートのバーを、集草袋カバーの穴に通し、割りピンで固定します。



2 スプリングとカバーをボルト、ワッシャ、ナットで固定すればカバーの取付けは完了です。



組立て

排出口の取付け

- 1** 集草袋取付プレートの排出口カバーを取外します。



- 2** 排出用チューブ②を集草袋取付プレートの排出口に挿込みます。



排出用チューブ②



- 3** 排出用チューブ②に排出用チューブ①をはめ、付属のボルト、ナットで固定します。



排出用チューブ①



- 4** 2カ所の蝶ネジを一旦外し、カバーを開け、排出用チューブをセットし、蝶ネジを締めます。



組立て

集草袋の取付け

- 1 集草袋を本体に取付けます。
引っ掛ける感じです。

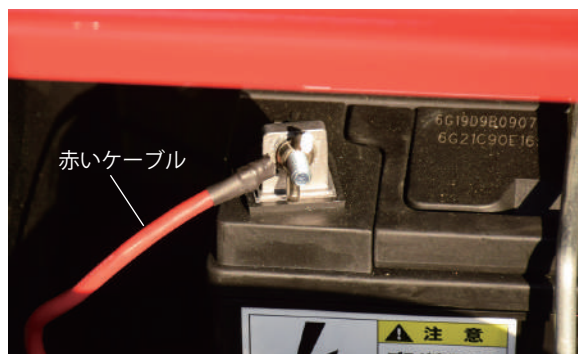


- 2 集草袋の取付け完了です。



バッテリーの配線

- 1 シートサポートを開け、バッテリーターミナル付近のケーブルを取出します。
- 2 赤色のケーブルを「+」ターミナルに接続し、ボルト、ナットでしっかり固定しカバーを被せます。（必ず+から行ってください。）




- 3 黒色のケーブルを「-」ターミナルに接続し、ボルト、ナットでしっかり固定します。



取扱い

エンジンスロットルレバー

- 1 エンジンが冷えているときは、チョークマーク  に合わせます。



- 2 エンジンスロットルレバーを「高速（うさぎマーク）」に合わせるとエンジンの回転が高くなり、「低速（かめマーク）」に合わせると、低くなります。

走行変速レバー

- 1 前進する場合は、走行変速レバーを希望するスピードの位置「1～5」に合わせます。後進する場合は、走行変速レバーを「R」に合わせます。



ブレーキ・クラッチペダル

停止、前進、後進させます。

- 1 ブレーキ・クラッチペダルは、ブレーキペダルをいっぱい踏み、停止してから操作してください。



- 2 エンジンスロットルレバーを「低速（かめマーク）」にします。



- 3 前進する場合は、走行変速レバーを希望するスピードの位置「1～5」に合わせます。後進する場合は、走行変速レバーを「R」に合わせます。

- 4 ブレーキ・クラッチペダルをゆっくり放します。

- 5 エンジンスロットルレバーを「高速（うさぎマーク）」にします。

刈刃クラッチレバー

刈刃を駆動、停止させます。

- 1 エンジンを掛けるときは、刈刃クラッチレバーが「止まれ」に合わせます。



取扱い

- 2 刈刃を駆動するには、刈刃クラッチレバーを「回転」の位置に合わせます。



- 3 刈刃を停止するには、刈刃クラッチレバーを「止まれ」に合わせます。

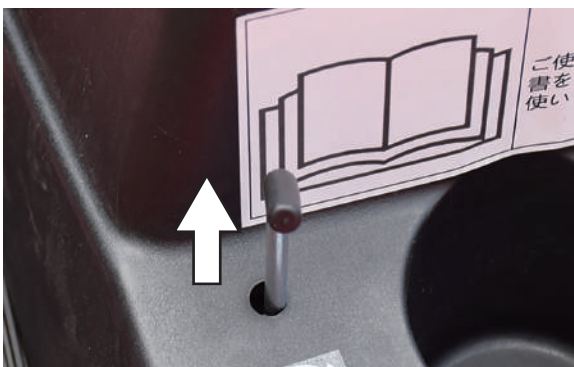
- 4 道路を横切る時は、必ず刈刃を停止してください。

パーキングブレーキ

- 1 ブレーキ・クラッチペダルをいっぱい踏みます。



- 2 パーキングブレーキレバーを引張り上げます。



- 3 ブレーキペダルをゆっくり放します。

- 4 パーキングブレーキは、ブレーキペダルをいっぱい踏むと自動で解除されます。

刈高調整レバー

刈高は6段階調整が可能です。

- 1 刈高調整レバーを希望する刈高1～6の位置に合わせます。

ワンポイント

刈りたい高さよりも高い位置からはじめ、徐々に刈高を下げていくことがきれいに刈れるコツです。



注意

はじめから刈高を低くすると、芝や草が詰まったり、ベルト類に負荷をかけてしまいベルト切れや破損の原因になります。

- 2 道路を横切る時は、一番高く(6段)し、刈刃クラッチレバーを「止まれ」にします。



運転前の点検

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内にホコリや水が入らないように注意してください。

注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼付けを起こします。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン（レギュラーガソリン）
タンク容量	4.2L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。

■点検手順

- 1 燃料タンクキャップを外し、ボディ横の窓を見て残量を確認します。



- 2 少ない時は上限の位置まで補給します。

- 3 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

※出荷時にエンジンオイルは入っていますが、量は必ずご確認ください。

■点検手順

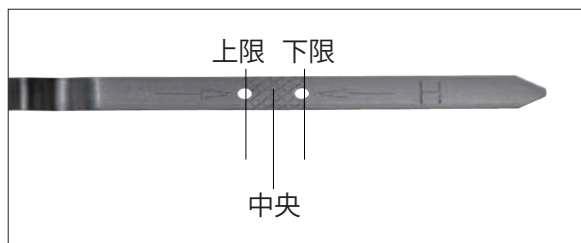
- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外します。

- 2 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)にあるか点検します。



運転前の点検

- 3** オイル量が少ない時は、新しいオイルを、中央位置まで補給します。



推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル量	1L

- 4** オイル給油キャップを締めます。

集草袋の点検

放出物が集草袋の外に飛び出さないか点検します。

■点検手順

- 1** 集草袋を空にします。
- 2** 破れ、ほころびなどが無いことを確認します。



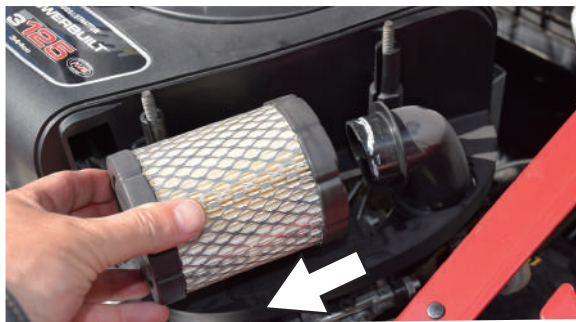
- 3** 集草袋が確実にセットされていることを確認します。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検します。

■点検手順

- 1** エアクリーナーのカバーを開け、エアフィルタを引っ張ると外れます。



- 2** エアフィルタの汚れを、エアガン等で吹き飛ばします。



- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。

バーナイフの点検

バーナイフに、割れ、曲がり、磨耗などの異常、緩みがないか確認します。そのまま使用しますと、重大な事故や故障の原因になります。(P.27参照)

運転操作の仕方

警告



- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。



- エンジン始動時、ハンドルをしっかり握ってエンジンを始動してください。
- 運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。
- 平坦な場所で作業を行ってください。
- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

- エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

警告

エンジンをかける前に必ずバーナイフに、割れ、曲がり、磨耗などの異常、緩みがないか確認します。そのまま使用しますと、バーナイフが飛び出すなど重大な事故や故障の原因になります。（バーナイフの締付け方P.27参照）

エンジンのかけ方

シートに座らないとエンジンはかかりません。

- ブレーキ・クラッチペダルをいっぱい踏み続けます。




- 走行変速レバーを「N」の位置にします。



- 刈刃クラッチレバーを「止まれ」にします。



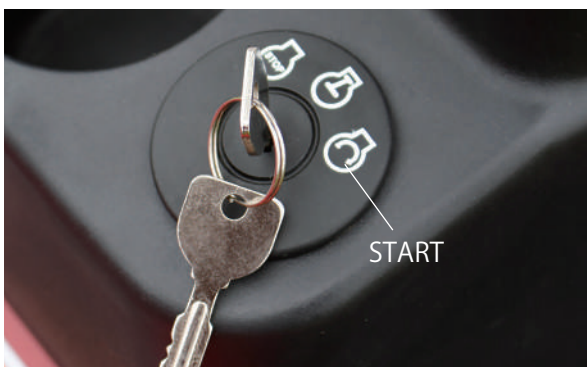
- エンジンが冷えているときは、エンジンスロットルレバーをチョークマーク （うさぎマーク）に合わせます。

運転操作の仕方

- 5** エンジンが暖まっている時や再始動時には、エンジンスロットルレバーを「中速（うさぎマークとかめマークの中心）」に合わせます。



- 6** エンジンスイッチを「START」まで回し、始動したら直ぐに放します。
6秒以内でエンジンがかからない時は、少し時間をおいてから再始動してください。



⚠ 注意

セルスターターは連続で回さないでください。故障の原因になります。

- 7** エンジンスロットルレバーを「低速（かめマーク）」に動かします。異常音、振動などが無いことを確認してください。



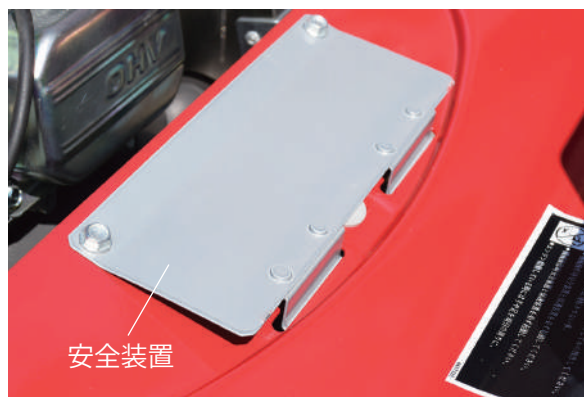
- 8** 暖機運転後芝刈り作業を行います。

エンジンの止め方

- 1** エンジンスイッチを「STOP」まで回すと停止します。



- 2** シートから離れるとエンジンは停止します。



🔑 ワンポイント

シートサポートを開けると、安全装置があります。この安全装置が押される（座る）ことでエンジンがかかり、離れる（立ち上がる）ことで安全装置が働き、エンジンが止まる仕組みです。

運転操作の仕方

芝刈り・草刈り操作

ワンポイント

刈りたい高さよりも高い位置からはじめ、徐々に刈高を下げていくことがきれいに刈れるコツです。



- 1 ブレーキを踏みエンジンを始動します。
- 2 刈高調整レバーで刈りたい高さより高い位置に調整します。

⚠ 注意

はじめから刈高を低くすると、芝や草が詰まったり、ベルト類に負荷をかけてしまいベルト切れや破損の原因になります。

- 3 エンジンスロットルレバーを「低速（かめマーク）」の位置に合わせます。



- 4 走行変速レバーを1速にします。（P.25の走行に関するの注意をご覧ください。）



- 5 刈刃クラッチレバーをゆっくり「回転」の位置に合わせます。



- 6 ゆっくりブレーキペダルを放します。



- 7 エンジンスロットルレバーを「高速（うさぎマーク）」の位置に合わせます。



- 8 芝刈り・草刈り作業を行います。

⚠ 注意

作業中、急に本体下の方から「キュルキュル」という音や白煙が出たらすぐにエンジンを停止してください。芝や草が詰まり、ベルトに負荷がかかりますので、速やかに詰まりを取除いてください。

運転操作の仕方

傾斜面での芝刈り・草刈り

- 1 傾斜面では、一番低速で作業してください。



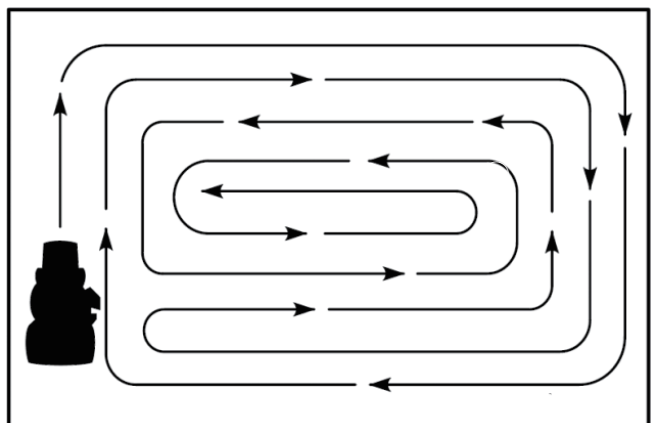
- 2 走行変速レバーを1速にします。



- 3 傾斜面では、止まったり、スピードを変えたりしないでください。

刈取りパターン

広い場所での芝刈り・草刈りは、右回りに1~2周した後、中心に向かって左回りに刈り作業を行います。



芝・草の処理について

⚠ 注意

濡れている芝・草、雨上がりの芝・草を刈ると、チューブ内やバーナイフカバー内に芝・草が張り付き、詰まりやベルトの破損の原因になります。

- 1 集草袋に芝や草がいっぱいになる前にこまめに捨ててください。(HG-SK9950のみ)
集草袋がいっぱいになってもそのまま作業を続けると、排出チューブ内に詰まり、チューブを取外さないと取除けなくなります。



- 2 集草袋レバーを下げることで、乗車しながら芝や草を排出することができるのでこまめに捨ててください。



- 3 横排出の場合も排出の勢いが落ちたと感じたり、音に変化があったらエンジンを停止し詰まりを確認してください。



運転操作の仕方

作業の終了

- 1 エンジンを停止します。
- 2 刈高調整レバーの刈高を「6」にします。
- 3 詰まった芝・草はそのまま放置しないで必ず毎回取除いてください。次回運転時にベルト負荷がかかり破損したり、摩擦で発火し火災の原因になります。



警告

車両に堆積した草等はきれいに取除いてください。
火災の原因になります。



- 4 エンジンの空気吸入口に草などが堆積するとオーバーヒートや熱による車体の異常が発生する可能性があります。作業後には必ずエンジンの空気吸入口を点検し、草などが堆積している場合は取除いてください。



走行に関する注意

ハンドルを切った状態で発進しないでください。
タイヤ、車軸、本体に負荷がかかり破損の原因になります。



車両の移動に関する注意

移動をする際は、必ず刈高調整レバーの一番高く(6段)し、刈刃クラッチレバーを「止まれ」にしてください。



点検・整備の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヵ月後又は 20時間運転後	3ヵ月毎又は 50時間運転毎	6ヵ月毎又は 100時間運転毎	1年毎又は 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.19
エンジンオイル	オイル量	●					P.26
	交換		●	●			P.26
エアクリーナー	清掃			●			P.29
	交換					●	P.29
点火プラグ	清掃				●		P.30
	交換					●	P.30



このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

運転前の点検

本機をご使用するたびに点検を行ってください。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルは、初回20時間、以降50時間毎に行ってください。

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にし、本体の下に廃油受けを置きます。
- 3 オイル給油キャップを外すと抜けやすくなります。



- 4 ドレンボルトを10mmのスパナで緩めると、底に空いた排出口からオイルが廃油受けに流れ出ます。

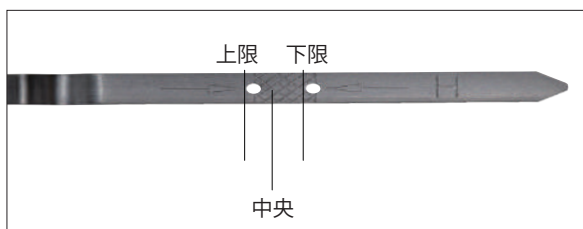


- 5 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 6 新しいエンジンオイルを、市販のオイルジョッキや漏斗等を使用して入れます。



点検・整備の仕方

- 7** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)にあるか点検しながら少しずつ入れます。



- 8** 給油後は、確実にキャップを締めます。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル量	1L

バーナイフの交換

バーナイフの交換を行います。作業は、2名以上で行ってください。エンジンを切って行ってください。

■交換手順

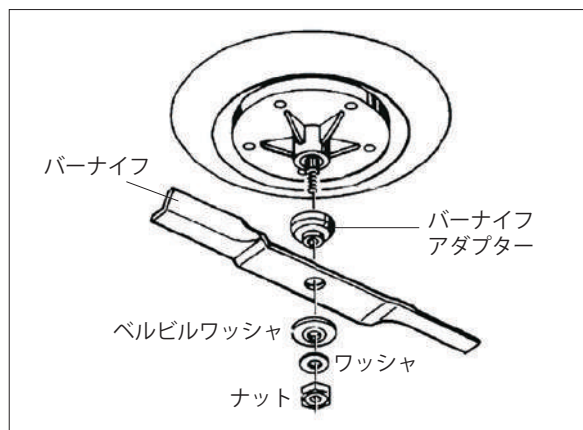
- 1** 走行変速レバーを「N」以外に入れます。
- 2** パーキングブレーキレバーを引っ張り上げます。(P.18参照)
- 3** 本機を台に乗せます。動かないように必ず固定します。



- 4** 22mmのめがねレンチをボルトにはめ、レンチとバーナイフのお互いを引寄せます。ハサミを使う要領です。

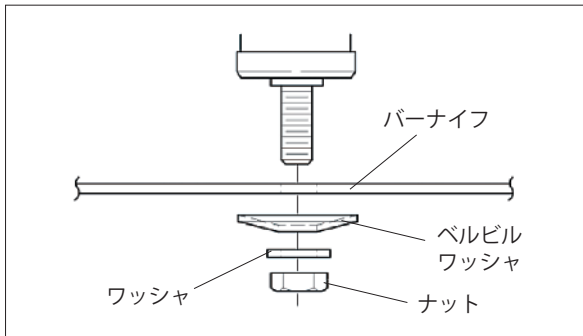


- 5** 上記を数回繰返しボルトを緩めます。
- 6** ある程度緩んだら、バーナイフを固定しながらめがねレンチを回せば外れます。
- 7** 新しいバーナイフの端が高い方が上になるように取付けます。



点検・整備の仕方

- 8** ベルビルワッシ(向きに注意)、ワッシャを通し、ナットでしっかりブレードを固定します。



- 9** めがねレンチをボルトにはめ、レンチとバーナイフのお互いを引寄せます。ハサミを使う要領でしっかり締付けます。(写真は別機種ですが、要領は同様)



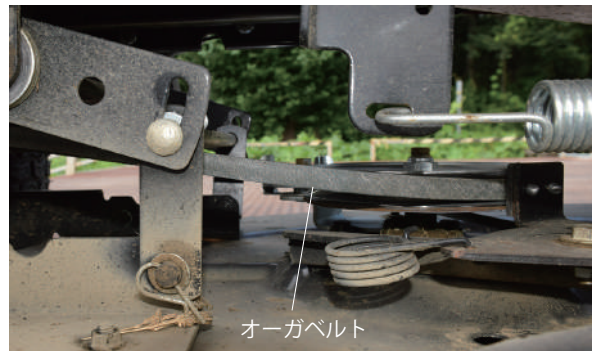
ベルトの点検

ベルトは消耗品です。切れによる作業の中断を防止するため、作業後はベルトの点検を行ってください。バーナイフが回転しない多くの原因は、草などの絡まりとベルトの切れ、軸とプーリーの接続部の摩耗です。トラブルを未然に防ぐためには点検が有効です。

- 1** 走行(駆動)ベルトに切れ、摩耗がないか確認し、不具合がある場合はベルトの交換を行います。(写真は切れかかっているベルト)



- 2** オーガベルトに切れ、摩耗がないか確認し、不具合がある場合はベルトの交換を行います。



- 3** オーガベルトのプーリー部分を揺らし、ガタツキがないか確認します。ガタツキがある場合は、軸とプーリーの接続部が摩耗し、空回り状態になっている可能性があります。この場合は、軸とプーリーの交換になります。



■互換ベルト

走行ベルト	バンド製 W800-SA39
オーガベルト	バンド製 W800-SA44

点検・整備の仕方

グリスの塗布

回転部・可動部には、機械用グリスを適宜塗布してください。

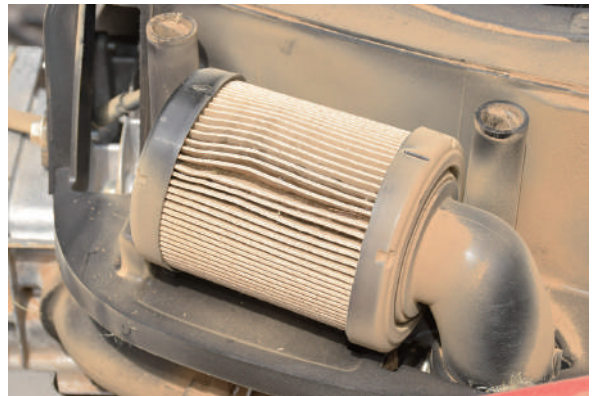


エアクリーナーの清掃

エアフィルタを清掃します。

■清掃手順

- 1 エアクリーナーのカバーを開け、エアフィルタを引っ張ると外れます。



- 2 エアフィルタの汚れを、エアガン等で吹き飛ばします。



- 3 取外しと逆の手順で取付けます。

点検・整備の仕方

点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具

プラグレンチ、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1 点火プラグキャップを取外します。



- 2 点火プラグをプラグレンチで取外します。

- 3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



適応点火プラグ	BKR5ES(NGK)
---------	-------------

- 4 取外しと逆の手順で取付けます。

長期間使用しない時

本機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置いてください。
- 2 燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
- 3 エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 4 点火プラグキャップを外します。
- 5 バーナイフ周りを清掃します。
- 6 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 7 防錆、給油を行います。
- 8 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。
- 9 バッテリーの配線を外します。

運搬について

- 1 燃料タンクのガソリンを、全て抜きます。
振動や衝撃で、燃料がこぼれる恐れがあります。
- 2 エンジンスイッチをOFFにします。
- 3 ロープなどで、本体をしっかり固定します。

注意

- ・車内に積載したまま、直射日光のあたる場所に、長時間放置しないでください。気化したガソリンが、引火し爆発する恐れがあります。

故障かな？と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	安全リミットスイッチの不良	交換 (P.22 参照)
	点火プラグ不良	交換 (P.30 参照)
	点火プラグキャップ接続不良	調整 (P.309 参照)
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がはいつていない	燃料を入れる
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.26 参照)
オイルがガソリン臭い	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.26 参照)

●エンジンはかかるが、回転があがらない

	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.29 参照)
--	-----------	------------------

●過度の振動

本体が振動する	バーナイフのバランスがとれていない	バーナイフに交換 (P.27 参照)
	バーナイフの割れ・曲がり・摩耗など	バーナイフに交換 (P.27 参照)
	バーナイフ取付けボルトが緩んでいる	ボルトを確実に締めなおす

●うまく刈取りができない

芝生が放出されない	バーナイフの刃先が極端に摩耗している	バーナイフに交換 (P.27 参照)
芝生が刈れない	刈取り高さが合っていない	適切な高さにする
	集草袋が目詰まり、いっぱいになっている	清掃
	芝が濡れている	芝生が乾いている時に作業

●走行しない、刃が回転しない、異音

走行しない	走行 (駆動) ベルトの切れ、摩耗	交換 (P.28 参照)
刃が回転しない	オーガベルトの切れ、摩耗	交換 (P.28 参照)
刃が回転すると異音	オーガプーリーの破損	交換 (P.28 参照)

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

消耗品一覧

商品名	商品コード	
フロントタイヤ	1401289n	
リアタイヤ	1401290n	
リアブロックタイヤ 左右セット	sy9950-p01-02n	
集草袋 (袋のみ)	hg-esn-p046n	
集草袋 アタッチメント	hg-sk9950bagn	
走行 (駆動) ベルト	9950p37x110n	
オーガベルト	9950p37x111n	
替刃 (バーナイフ)	1401079n	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。
 ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>
 楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>
 ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
 ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様	ご購入時 登録の 電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	普段繋がり やすい 電話番号	
		FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ			
氏名 会社名	様	電話番号	
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	群馬銀行 館林支店 普通口座 1860509	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1万円未満：330円、3万円未満：440円、10万円未満：660円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

MEMO

Lined area for writing a memo, consisting of multiple horizontal dashed lines.

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



HAIGE

ハイガー産業 株式会社

〒370-0603

群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW